

本会議から付託された議案5件、陳情1件を審査するため、令和2年9月11日に文教福祉委員会を開催しました。

議案第58号

令和2年度総社市一般会計補正予算（第8号）

～内容～

後期高齢者医療費広域連合会負担金の増額が主なもの。

～結果～

次のような審査の結果、本委員会の所管に属する部分は全員一致で**原案を可決**すべきであると決定

～質疑～

問：後期高齢者医療費広域連合会負担金の増額理由は何か。

答：理由としては2つあり、ひとつは、1人当たりの医療費が平成30年度より約54,000円増額となったためである。もうひとつは、後期高齢者の被保険者数の伸び率が高くなったためである。疾病の重症化やそれに伴う医療の高度化が増額要因と考えられる。

議案第59号

令和2年度総社市介護保険特別会計補正予算（第1号）

～内容～

令和元年度介護保険特別会計の決算において、支出見込みで交付決定されていた国・県等の地域支援事業費交付金等について金額が確定したため、収入過多となったものについて返還するための経費の増額が主なもの。

～結果～

質疑、討論もなく、全員一致で**可決**すべきであると決定

認定第2号

令和元年度総社市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

～結果～

質疑、討論もなく、採決の結果、全員一致で**認定**すべきであると決定

認定第3号

令和元年度総社市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

～結果～

質疑、討論もなく、採決の結果、全員一致で**認定**すべきであると決定

認定第4号

令和元年度総社市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で**認定**すべきであると決定

～質疑～

問：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果はどうであったか。その結果を今後どのように活用していくのか。

答：この調査は、令和2年度に介護保険第8期計画を策定するために行ったものであり、65歳以上で要支援1と2の方、8,000人を対象に行った。回答者5,839人、回収率73%であった。調査項目は、生活状況や健康状態等であり、分析結果を計画に反映させていきたい。

問：認知症事故救済制度の内容はどうか。

答：認知症の方の家族の不安を取り除くための制度である。補償額の上限は3億円であり、示談交渉も行うことができる。そうじゃおかえりサポートの登録者は、制度開始前は117人であったが、現在は177人となっている。なお、保険料は当初1人当たり年額1,040円であったが、令和2年8月1日から、線路内への立ち入りによる事故も補償の対象としたため、1人当たり年額1,810円となっている。

陳情第1号

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択の陳情について

～陳情内容～

子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進し、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元するよう、政府等関係方面へ意見書の提出を求めるもの。

～結果～

「陳情の主旨に賛同できる。」との意見があり、全員一致で**採択**すべきであると決定